

## ◆ 水平面の給水、鉛直面や傾斜面の水分逸散抑制を目的とした養生シートが誕生しました。

### 土木学会コンクリート標準示方書 2012年制定 8.1 総則

表8.1.1養生の基本のとおり、湿潤養生が『湿潤に保つ』から『給水』と『水分逸散抑制』に区分されました。

解説 表8.1.1 養生の基本

目的	対象	対策	具体的な手段	水平面	鉛直面
湿潤状態に保つ	コンクリート全般	給水	湛水, 散水, 湿布, 養生マット等	アクアシート	アクアカーテン
		水分逸散抑制	せき板存置, シート・フィルム被覆, 膜養生剤等	アクアシート	アクアシート

### 2012年制定 8.2 湿潤養生

(3) 打込み後のコンクリートは、一定期間は十分な湿潤状態に保たなければならない。

(4) 養生方法の選定に当たっては、その効果を確認し、適切に湿潤養生期間を定めなければならない。ただし、通常のコンクリート工事におけるコンクリートの湿潤養生期間は、表8.2.1を標準とする。

表8.2.1 湿潤養生期間の標準

日平均気温	普通ポルトランドセメント	混合セメントB種	早強ポルトランドセメント
15℃以上	5日	7日	3日
10℃以上	7日	9日	4日
5℃以上	9日	12日	5日

【解説】(4)について・・・表中の数値は、十分な給水養生を行った場合を対象とし、・・・ただし、コンクリートの品質の向上が期待できる場合には、湿潤養生期間を長くすることが望ましい。

水平面の給水養生は 従来から可能でしたが、湛水はダムで、散水だけでは乾燥状態が避けられず、厚手の養生マットに散水する方法は、重量が重くて扱いが大変でした。  
⇒実際には、給水養生は理想であってキッチリ行うのは難しい。

### アクアシートの特徴

軽量性: 吸水状態でも80g/m<sup>2</sup>ですから100m<sup>2</sup>のアクアシートでも8kgです。

吸水性: 親水性の不織布を使っています。30g/m<sup>2</sup>の水を吸水します。

保水性: 不織布の片面に不透水性のフィルムをラミネートしています。

通水性: アクアシートには微細な孔が開いています。写真のようにアクアシートの上から散水してもコンクリートに給水できます。

安全性: アクアシートの周りをバタ角材や写真のように水を注入したフラットホース(内径77mm)で押さえると風による飛散防止と内部の乾燥防止が容易に図れます。

シートの大きさは、ロール幅1.3mのシートを貼り合わせるので任意に選択できます。

注意事項:

コンクリートの凝結が終了してから作業開始。ブリーディング水がある時期には使用しない。



湿潤養生の目的に応じてアクアシートとアクアカーテン姉妹を使い分けてください。

アクアカーテンに関しては、アクアカーテン普及会のホームページ<http://www.aqua-curtain.jp> で詳しい情報を提供しています。